

みどり通り(久松児童公園～清杉通りまで)の保育園の前に **ガードレール** が設置されます!

- 近隣の方々や保育園に通う保護者の方等から、
「車の路上駐車が多く感じる」
「保育園の玄関前がすぐ道路のため危ない」
「事故が起きてからでは遅いと感じる」等のご意見を伺いました。

- そこで、中央区役所を通じて警察へ危険な箇所へのガードレールの設置をはじめとした安全対策の更なる強化を要望したところ、
あい保育園日本橋の玄関前とFUTURE児童園 日本橋の前にガードレールが設置されることとなりました。



「第3回 かみや俊宏デジタル区政報告会」

2021年11月20日(土)17:00～配信開始

今年も新型コロナウイルス感染症の状況等を鑑み、デジタル区政報告会として区政への取組等を動画で配信させていただきます。
(ゲスト:前復興大臣 平沢勝栄衆議院議員)
事前申し込み不要です。お気軽にご覧ください!

配信開始日時 2021年**11月20日(土)**
17:00～(約30～40分程度)

配信アドレス HPからご覧頂けます。
<https://kamiya-toshihiro.com/>



かみや俊宏プロフィール

1981年 中央区(日本橋浜町 北井医院)生まれ 中央区育ち
1994年 久松小学校卒(親子三代卒)
1997年 早稲田実業 中学 卒業
2000年 早稲田実業 高校 卒業
2004年 早稲田大学政治経済学部 卒業後、(株)伊勢丹入社
2007年 東京都庁(予算編成等)
2017年 衆議院議員 平沢勝栄(復興大臣) 国会事務所 秘書
2019年 初当選(自民党公認) 二児の父 共働きで子育て中!

地域活動
浜町二丁目西部町会、浜町ライオンズクラブ、久松防犯協会青年部
久松補導連絡協議会 日本橋消防団、日本橋パパの会、中央稲門会
中央区保護司、中央区青少年対策地区委員会、稲門政経会、東京青年会議所 他

議会・政党
中央区議会 コロナウイルス・防災等対策特別委員会 副委員長
環境建設委員会 委員
築地等地域活性化対策特別委員会 委員
自民党 東京都連青年部 政策副委員長
中央区総支部 副企画広報委員長
中央区第二十支部 支部長



かみや俊宏事務所
〒103-0007 中央区日本橋浜町2-19-3
Mail : info@kamiya-toshihiro.com
Web : kamiya-toshihiro.com



かみや俊宏



2021年
秋号

特集 中央区議会本会議 かみや俊宏の一般質問!

～アフターコロナに向けた政策提言を中心に質問しました～

詳しくは中面へ

区民のみなさまへお伝えする 新型コロナウイルス感染症の状況

1 感染者数等の状況

●中央区内の感染者数
(2021年10月23日現在/東京都公表)
5,632人 (5,619人*)
*既に退院等をされた方の数です。

●中央区PCR検査センターでの検査結果
(2020年5月～2021年9月)

検査件数 **8,753件** 陽性 **1,511件** 陰性 **7,242件**
陽性率 **17.26%**

2 ワクチンの接種状況

2021年10月24日時点

年代	対象年齢	接種1回目		接種2回目		接種回数
		接種数	接種率	接種数	接種率	
～64歳	125,799人	98,065人	78.00%	92,737人	73.70%	190,802回
65歳～	25,259人	22,741人	90.00%	22,506人	89.10%	45,247回
合計	151,058人	120,806人	80.00%	115,243人	76.30%	236,049回

3 自宅療養者等に対する医療支援体制の強化

- 自宅療養者の方から保健所に連絡があった場合に、**地域の医療機関等が電話やオンライン**などで診療を行います
- 9月下旬には**石川島記念病院**が新型コロナウイルス感染症の軽症・中等症の**患者さんの入院診療を優先的**に行うコロナ専門病棟へ転換しました。
- 築地市場跡地には中央区からの要望も踏まえ、東京都が**抗体カクテル療法を実施する施設**を設置しました。

※最新の状況は、東京都や中央区のホームページをご確認ください。



かみyasの 思い



本年度は中央区議会 コロナウイルス・防災等対策特別委員会の副委員長を拝命し、コロナ対策に懸命に取り組んで参りました。地域では、ワクチン接種、飲食店への支援策、医療体制の充実、地域行事中止に伴うコミュニティの希薄化、子どもたちの生活への影響など、本当に多くの貴重なご意見を伺いました。中央区議会自民党議員団は、6月の第二回定例会で地域経済の復活について提案・要望を行いました。9月に始まった第三回定例会では、区行政からは**地域コミュニティの連携を図るための補助金(2,000万円)**や**飲食**

業団体、商店街への支援(1億2,000万円)の予算案が提案・可決されました。今後も更なる対策を求めて参ります。一方で、コロナにより子どもたちは「多くの我慢」を受けたように思います。私の息子も保育園の運動会をはじめとする各種行事が中止や規模縮小になりました。これから、夏祭りや遠足、修学旅行など子どもたちにさまざまな経験の機会を提供できるようにすることが重要だと考えます。また、地域行事を子どもたちが楽しんでいた姿を思い出し、改めて地域の繋がりの大切さを実感しています。改めて、**地域みんなで子育てできるようなあたたかい雰囲気づくり**が求められていると感じます。これからも「**子どもたちの未来のために**」精一杯活動して参ります。



本会議では15の質問を行いました。今回のレポートではその中から特に、4点の質問を詳しくご紹介します。

質問1 「予算づくり」のプロセス公開を要望しました。



区長答弁

自分の納めた税の使い道をわかりやすく発信することは、意義あることと認識。
先行自治体の取り組みの把握に努め、わかりやすい情報発信について引き続き、検討していく。

質問の背景

本区は財務情報などを活用した行政評価、決算分析をまとめた財政白書の発行などを通じ、**広く区民の皆さまへ「税の使われ方」を公表**しています。
お隣の港区では、編成のスケジュールを公開し、新規・拡充事業

は、一覧や各事業の詳細を記載した概要書も公開しています。
そこで、近隣区の公開の状況を踏まえ、**「予算づくり」のプロセスの公開が必要**と考え見解を問いました。

質問2 浜町川緑道の大規模改修、再整備の提案をしました。



区長答弁

浜町川緑道の再整備については、環境問題への対策を取り入れながら、**地域の方々と協働で進めていきたい**と考えている。

質問の背景

日頃、多くご意見を伺う場所が浜町川を埋め立てた浜町緑道です。ご相談を伺った限りでも、
①緑道沿いに駐停車する車列への対応
②商店街の方からの周辺の照度についてのご意見
③長期滞在している路上生活者の方へのお声かけ
④一昨年に撤去された喫煙スペース
⑤現在の緑道内での受動喫煙
等のご意見に区はきめ細やかな対策を講じられたと感じています。一方で、整備からの時間の経過に伴い、緑道内の小川の

スペース活用や、東西の往来が行いづら
い点、緑道自体の老朽化など、課題も
感じるというご意見も伺います。
そこで、2019年3月に改訂された「中央区緑の基本計画」に基づき、**浜町緑道の大規模改修・再整備を行うことが必要**であると考え、
グリーン・リカバリーの視点から見解を問いました。



質問3 ナウマンゾウの化石・浜町標本の活用を要望しました。



区長答弁

2022年12月開設予定の**「本の森ちゅうおう」**において、デジタルアーカイブし、郷土資料館で**展示**等をする。
また、来街者等への紹介の環境が整った際に、観光協会と連携し、**まち歩き**のルート上への組み込みなどの具体化に向け積極的に検討する。

質問の背景

2020年第一回定例会で、八王子に眠る「浜町標本」を展示、魅力を発信する取組を推進していただきたい旨、提言しました。
答弁では、**展示は難しいが、浜町標本は大変貴重である**という認識のもと地域の意見等も踏まえ活用方法を検討して頂けるとのことでした。
地域では標本の現物をご覧になった方等が中心となり「浜町標本

プロジェクト」が立ち上がりました。
そこで、前回の答弁を踏まえ、**浜町標本の存在や意義、その魅力について中央区としての活用の検討**を、また、観光の視点から**地域の魅力の一つとして情報発信を検討**して頂きたいと考え見解を問いました。



質問4 久松幼稚園の移転について5つの質問をしました。



質問内容①

これまでの経緯や関係者の方々への説明と反映した意見は？

→久松幼稚園、同小学校、常盤小学校の校友会や住民に全17回説明会を開催。
→両校の通学区域に居住する未就園児がいる約880世帯に個別の文書を送付。
→意見の反映については、異年齢交流や兄弟姉妹で通園する保護者負担軽減の観点から、**全学年を一括移転**させるようスケジュールの見直しを行った。

質問内容②

小学校の増改築、近接地の活用等、地域のご意見に対しての検討経緯は？

→学校敷地内・近接地での検討したのち、教育委員会が保有する施設の活用を検討した結果、同じ日本橋地域に位置する休園中の常盤幼稚園スペース等への**移転が適切と判断**した。
→説明会では、近接民有地の小学校利用について提案を受けたが、学校運営に支障をきたすことから、当初の方針で進める結論に至った。

質問内容③

久松・常盤の歴史・伝統を大切にしたい園名・通称は？

→**久松幼稚園**の移転であり、**そのまますの名称使用**を考えている。一方、休園中である常盤幼稚園の園舎を活用することから、**「常盤園舎」という名称も併せて使用**する方向で検討している。

質問内容④

移転に係る現実の問題認識、対策の検討状況は？

→通園方法は、添乗員を配置したバス運行を予定。
→久松小学校との連携は、通園バスを活用した直接的な交流やオンライン交流の実施を検討中。
併せて常盤小学校との連携も充実させていく。
→**添乗員付きのスクールバス**の運行を**予定**している。
停留場所等を検討中。
→幼稚園と小学校の連携は両校と連携していく。

質問内容⑤

移転は「仮移転」のイメージとし、久松地域へ戻るべきでは？

→久松小学校の今後の児童数の需要が満たされ、**教室数に余裕が生じれば、久松幼稚園が再び戻ることについて、保護者や地域の方々へ説明**している。
→今後の人口推計や地域の状況等を見据え、適切な時期に**久松地域に再整備**できるよう検討を継続していく。

質問の背景

久松幼稚園の移転は、大変多くのご意見を伺いました。様々なご意見を伺ったため、学校の関係者の方等にお話を伺うとともに、**2014年春から始まった増築棟建設の経緯、代替地の検討**などを調べました。2011年秋には当時の久松小学校の校長先生からも**教室数が不足するのではないが**、との懸念が表明されるなど、議論が深まった旨も伺いました。
「過去の教訓」をいかに**今後に生かしていくのかという視点で5つの質問**をさせて頂きました。

かみやの思い



35人学級化により久松幼稚園の移転の議論が急速に進みました。一方で、調査を進めると2014年からはじまった増築棟建設の際、現在よりも1フロア高い増築も検討されていたことがわかりました。しかし、結果として「もう1フロア高く増築する必要はない」と判断され、今回の移転になったと理解しています。今回の移転は**「仮移転」というイメージ**を持ちたいと思っています。教育長答弁でも「教室数に余裕が生じれば、保護者や地域の方々へ久松幼稚園が再び戻ることについて説明していること。**久松地域に戻ることを引き続き検討する**」旨の答弁がありました。
今後も人口増加が見込まれるなど様々な課題も存在すると思いますが、**この思いで活動を継続**して参ります。

その他の質問事項

- 区行政のデジタル化
- 本区の財政状況と来年度予算編成に向けた取組
- 減収補てん債はじめ多様な財源確保策
- 日本橋東部地域・隅田川テラスの緑化・利活用など

質問・答弁の詳細は
ブログを
ご覧ください。

